

令和6年度学校評価を受けて(報告)

1 保護者による評価について

全ての項目において「4:思う」「3:少し思う」の合計が90%を上回る高い評価結果となりました。

このことから、今年度の教育活動その他の学校運営について、その目標をおおむね達成できていると考えることができます。

2 職員による評価について

2項目(Q4, Q16)以外の項目において、「評価4:十分達成」、「評価3:おおむね達成」を合わせた評価割合が80%を超える評価となりました。今年度の重点目標達成に向けた取組は、一定の成果を上げることができたと考えられます。

3 課題

職員による評価において、Q4, Q16は、「評価4:十分達成」、「評価3:おおむね達成」を合わせた評価割合が80%に達しませんでした。

Q4[業務改善の積極的な試行や導入, ICT 機器の活用, 情報化などの業務改善に取り組むなど, ライフ・ワークバランスの推進に取り組んでいるか]に関しては、業務改善の取組に課題があるという意見が寄せられました。

Q16[学校分置を意識しながら PTA や地域と連携を図っているか(関係学校との交流学習や地区 PTA の充実)]に関しては、学校分置に関する新たな情報がなく、具体的な取組が難しかったことが上げられました。

また、保護者や地域住民が学校づくりに参画する学校関係者評価委員会では、「学習指導内容」や「緊急時の連絡体制」、「職員の健康面」、「研修の進め方」等について意見をいただきました。

これらの課題に関しては、関係部署で改善策の検討を行い学校全体で情報の共有を図り、次年度への引き継ぎ、今後の教育活動や業務に生かして参ります。

4 最後に

本校では、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導・支援を行い、生きる力や可能性を限りなく伸ばしながら、自立と社会参加に向けて、心豊かに生きる児童生徒を育成して参ります。

また、地域における特別支援教育のセンター的機能を果たすべく、現在の取り組みを継続しながら、地域から信頼される学校を目指して参ります。